

# 公共施設の今後のあり方に関する 市民ワークショップ<sup>o</sup> 実施結果

令和2年11月

出水市政策経営部企画政策課

# 公共施設の今後のあり方に関する市民ワークショップ

## 1 概要

### 1 目的

- 個別施設計画の策定に向け、施設ごとの具体的な方針や使用料の見直し基本方針の素案を示した上で、その賛否や課題、独自のアイデア等について市民同士で議論・提案してもらい、計画内容や推進方法に反映させることを目的とする。

### 2 参加条件

- 出水市に居住する方であれば、「どなたでも」「どこの会場でも」「何回でも」参加可能（公共施設を利用したことがない方でも参加可能）

### 3 実施日及び会場

実施日	会場	実施日	会場
9/28	市役所本庁多目的ホール	10/29	大川内農業者トレーニングセンター
9/30	江内体育館	11/4	出水市中央公民館
10/14	野田農村環境改善センター	11/11	米ノ津農村環境改善センター
10/20	米ノ津公会堂	11/18	高尾野農村環境改善センター
10/22	下水流農業者トレーニングセンター	11/25	出水公会堂

### 4 実施結果（各グループ案及び参加者アンケート）

- 別紙の通り

# 公共施設の今後のあり方に関する市民ワークショップ

## 1 市民ワークショップにおける意見・アイデア等 (1/3)

火葬場の集約については、3か所を1か所ではなく災害時等不測の事態に対応できるよう2か所に集約する。野田武道館・弓道場は、大人利用だけを考えれば集約可能だが、野田中学校における部活動利用等子どもが利用することを考えると影響が大きい。子どもが利用する簡易な施設を検討してはどうか。体育館の集約についても、学校体育館（野田中学校・小学校）共用利用で不足する部分を補填する規模で検討する。

火葬場は、総合管理計画方針のとおり、すぐではなく計画後期を目処に集約する。修理する場合に代わりとなる施設があるので、3⇒1ではなく、3⇒2に集約する。

屋根付き市民ふれあい広場は、多くの市民に利用され、高い稼働率を維持できれば設置の意味はあるので、利用率を高める工夫をする。

アグリセンターは、民営化でよいが、J Aに有償譲渡する。

火葬場について、10年、20年先を見据えて考える必要がある。処理能力を検討して可能であれば1か所、無理なら2か所に集約する。

火葬場は、3か所を1か所に集約する。

火葬場は、今後高齢化により利用される機会が多くなることから、いったん2か所に集約して耐用年数が到来したら出水1か所に集約する。

火葬場は一つに集約し、機能を充実させる

屋内ゲートボール場等人気の施設は料金を上げて良い

使用料の見直しについて、運動公園は多くの人利用できるよう基本的には現状通り無料で良いが、主催者が参加料を徴収して大会等を行う場合は、有料とする。

地域のよりどころとなる施設は必要なため、現在点在している施設を一か所に集約し、かつコンビニやカフェ等商業施設に利用できるようにする。また、地域でがんばってもらうため、使用料見直しについても、一律ではなく地域減額等を設定する

運動広場等を占有利用する際、民間が大会等で使用する場合は使用料を徴収する。

新設予定の屋根付き市民ふれあい広場は、より多くの市民に理解いただいたうえで建設・管理・運営できるよう、コストを示したうえで必要な機能や使用料等を検討し、稼働率の高い施設にする。

資料館の利用者は少ないので、集約する。ある程度利用者の見込める麓歴史館に統合しても良い

野田と高尾野の資料館（史料館・郷土館）は、出水に統合する。

江内カントリーコアは老朽化が顕著なため、江内体育館内に機能を備えて廃止。

クレインパークは廃止し、ラムサール条約締結もありツル観察センターへ統合し内容を充実させた上で、夏場も野鳥観察センターとして利用する等して閉館しない。

中央図書館は、現在利用者も多く他の場所に移転することは難しい、また出水の歴史は1か所で見られるようにしたい。

このため、麓歴史館は敷地が広いので中央図書館2階の歴史民俗資料館の機能を麓歴史館へ集約した上で、中央図書館の空いた2階のスペースを会議室やカルチャーセンターとして賃貸する。

公共施設稼働率向上のため、子ども視点の意見の集約（子どもが行けば親もついていく）・ワークショップ等の年代別開催（子どもや学生の意見）・授業等への活用（資料館等）・この施設は「こういった市民に使ってほしい」と市側からの提案（施設情報の周知）・営利目的の使用制限撤廃、等を行う。

クレインパークは必要な施設なのか検証が必要

ツル観察センターとクレインパークを統合。岩淵公民館は、岩淵地区5自治会の機能集約を図れる地区公民館として活用

クレインパーク・米ノ津農村環境改善センター・出水保健センターは、当分の間現状維持ではなく、クレインパークは進入口を変更（現在は利便性が悪い）し総合的な文化施設とする、米ノ津農村環境改善センターは解体して他施設を利用する、出水保健センターは解体して市民病院へする。

クレインパークや飛来里は、今後も維持できるか疑問だが、（利用者も多く経営状況が良いと思われる）特産館いずみを参考に今後管理・運営していく。

公民館等で稼働率の低い施設は、地域の公民館等を利用する。また、ツル観察センターとクレインパークを統合し、集会場としても併用する。

ツル観察センターとクレインパークは統合し、ドームシアター廃止等規模も小さくする。中央公民館でも上映できる。

クレインパークは、公園部分の利用は多いが、建物の利用は少ない。興味を持たせる企画・展示を行って利用者を増やすか、または同じツルに関する施設なので、実際にツルが飛来するツル観察センターに移設・集約する。

公共施設全般において、利用率の低い（30%以下）施設は、取り壊す。



# 公共施設の今後のあり方に関する市民ワークショップ

## 1 市民ワークショップにおける意見・アイデア等(2/3)

出水公会堂は老朽化しており、解体が良い。跡地は月極駐車場として活用する（一部は無料駐車場とする。）。
江内カントリーコア・米ノ津公会堂・小原山体育館は廃止する。他施設で機能は代替可能。
江内カントリーコアは大雨時の浸水の危険性もあるため、その機能を、例えば小学校の一部に移す等して統廃合する。
健全度C・Dの古い建物で利用者も少ない施設は、廃止し跡地について人口増加につながるような活用方法を検討する。
利用者が少なく、民営化しても経営が成り立たないと思われる施設は、民営化ではなく廃止する。
出水公会堂は、建築後80年以上経過はしているが、その程度では文化的価値があるとは言えず、廃止又は払い下げを行う。米ノ津公会堂も同様。クレインパークは現状では赤字経営のため、民営化する。
観光・商工・農業施設は、基本的に売却して民間で活用
アグリセンターをスピード感をもって民営化する。（本事案だけでなく）計画の進捗を図るため、専門部署を作る。
（公共施設の管理・運営において）民営化・団体への委託を推し進める。古い施設を活用し、民営化について公募する。
スポーツ施設は、スポーツ少年団が多く使うので集約化し過ぎない方が良い。社会人のスポーツ利用は、他地区の施設でも空いていれば使う
武道館や弓道場は、小中高生の部活動等で利用されており、市素案のように旧市町のものを集約すると影響が大きい。また、弓道場がある学校は少ないため、地域ごとにある既存施設との複合化で対応する。
全体的にスポーツ施設が多く、また投票所機能を有する施設が多いが、学校施設を共用化する
屋内ゲートボール場等、名称で利用範囲を限定させる印象を持つ場合もあるため、市民に理解される名称へ変更する（お金のかからない改善策。）。
体育館や武道館は、集約化により距離が遠くなる。車移動可能な者は影響が小さいが、部活等でも利用する子供達は困る。（親同士の）乗り合わせでは事故が起きた際の責任問題も生じるため、ふれあいバスの活用や、シャトルバス等、車移動できない者への交通手段を確保する。
海洋公園プールは利用が少ない。市民プールを更新し、学校プールも併せて廃止しバス送迎した方が安い。
学校プールを共用化（他校プール・市民プール）を導入する。
海の家は不要であり、海洋公園プールについても、市民プールを改修し統合した方が良い
各公共施設区分の施設を出水・高尾野・野田で1つにまとめる。
文化会館・音楽ホールは機能が同じなので、まとめる
文化会館と公会堂はまとめる
江内カントリーコアは、古くて老朽化も進んでいるが、出張所機能や児童クラブ機能があり廃止は抵抗がある。また江内体育館も使用頻度が少ない。両施設は統合や廃止を検討し、代わりに江内小中学校に機能を移転する。ただし、その分空調やトイレ整備等設備は充実させる。9月の台風10号の避難の時、小学校体育館はトイレが外にあり困った。それで避難をあきらめた方もいた。また、学校に正規の学校主事や事務職員を配置することで、移転した機能の業務を担ってもらう。
江内カントリーコアは出張所機能が高齢者にとって利便性が高く江内体育館は、江内まつりや地域・こどものバレー大会で使用しており、廃止はいかなるものか。一方で江内カントリーコアは浸水リスクがあり避難所には向かない。最近では小学校を使っているが、トイレが外にあるため施設内に設置する。また児童クラブを小学校に移転する等して可能な施設は移す。
資料館は、1か所にまとめて充実させる。興味がある人は遠くても行く。
利用したことがない施設も多く、統廃合そのものには賛成だが、江内カントリーコアは出張所機能や児童クラブ機能があり残して欲しい。ただ川が近く浸水するので、避難所としては課題がある。使用料・使用頻度を上げて改善する（改善されなければ廃止。）。
基本的にできれば野田の施設は維持して欲しいが、野田保健センター（職業訓練校機能以外）の部屋を集いの場・子育て支援の場等にして稼働率を上げたり、維持しつつも規模を縮小する。
一方で定住化促進により人を呼び、地域ニーズに応じた必要な施設規模で整備する。
岩淵公民館を体験学習等を行うNPO法人等に運営してもらい、地元住民も使える施設とする。避難所機能も残す。
海の家・海洋公園プールは距離が遠く利用しにくいだが、海の家はいろいろなことに利用できるようにして有効活用してもらう（防音機能を高めて太鼓・バンド利用等）
出水公会堂は、築82年経過して健全度も低く危険なため、使用頻度が低ければ廃止又は統廃合する。ただし、歴史的価値があるため残すべきとの意見も聞くため、配慮する。

# 公共施設の今後のあり方に関する市民ワークショップ

## 1 市民ワークショップにおける意見・アイデア等(3/3)

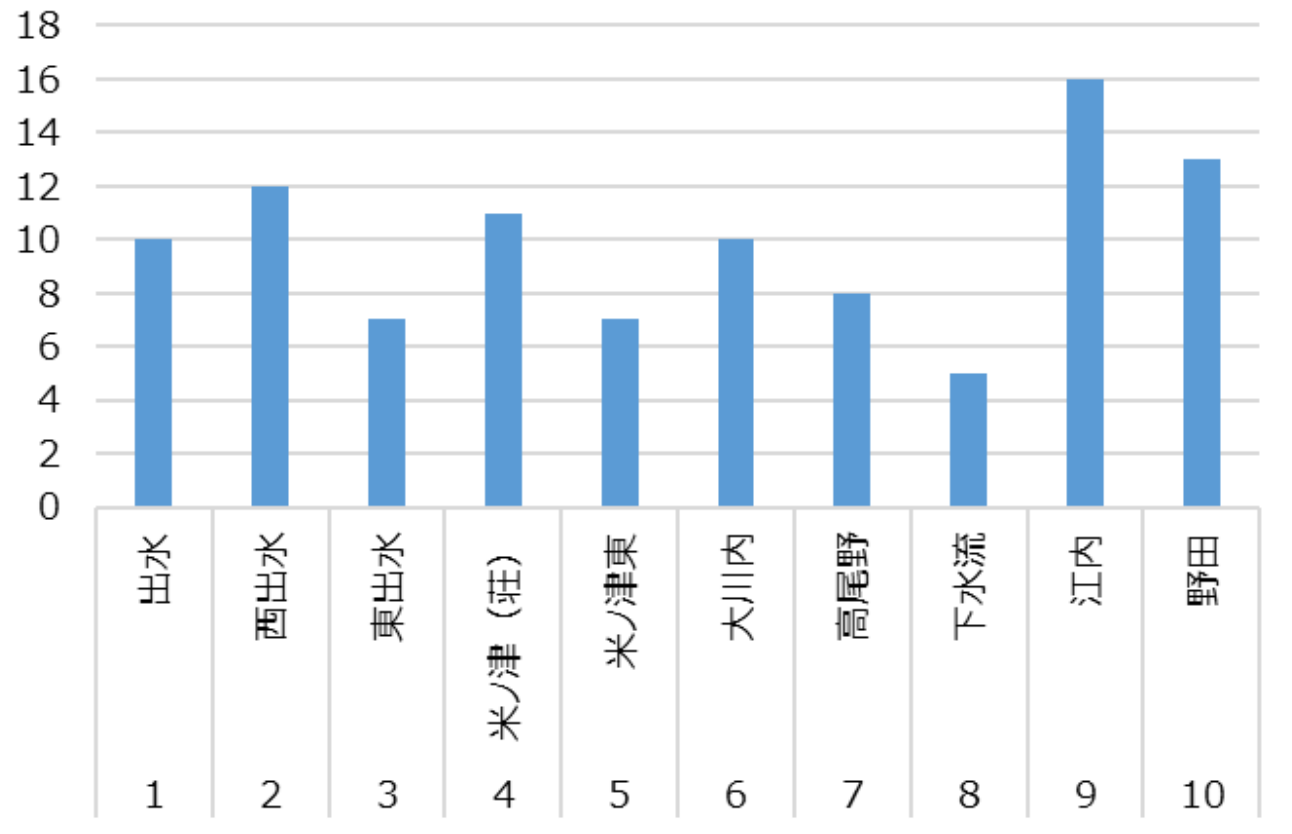
各中学校区にコミュニティセンターを設置し、そこに公共施設を集約する。
地区別に施設割合を考慮して統廃合を進める（米ノ津地区は公共施設が少ない）。また、防災・避難所機能として、（自治会）公民館活用を検討する。
大川内山村広場は、グランドゴルフ等利用者も多いことから、使用料を財源に管理・整備をしさらに利用度を上げて維持する。 大川内保育園の再開は難しいと考えるが、取り壊し等の費用を考えると、地元（大川内コミュニティ協議会）等に無償譲渡する、または大川内地区の人口が減少していることから、若い人が住めるよう住宅に転用する。
中央公民館の学習室等、これまで公共施設で行ってきたもので可能なものは、地域の公民館等も代替使用する。
全般的に廃止する施設を第一に決めて、残った建物について建替え・統合・複合化を推進する。 また、義務教育学校設立を推進することで、小中学校が一体化するので、体育館やプール等重複する建物や設備が一つで済む（市立幼稚園のある小学校は幼稚園まで含める。）。
マルマエホール・マルマエ音楽ホール・中央図書館・歴史民俗資料館は、まとめてPFI（公共サービスの民間利活用）
老朽化が進み、稼働率の低い、海の家・海洋公園プール・米ノ津農村環境改善センターを統廃合して、地区の公民館機能・避難所機能を有する施設とする。
将来人口減少⇒税収減⇒市職員減の連鎖が続くが、自助・共助の観点から公共施設の管理を地域コミュニティに委託することで、効率的運営かつ同コミュニティへの投資（委託料）も行える。施設はコミュニティ組織の活動等にも使用できる。
避難所機能は重要であるため、テレビや女性専用ルームを設置し、避難情報も積極的に発信する。また、学校プールは防災機能もあることから、存続する。
避難所機能にも配慮し、ハザードマップ見直しに合わせて再編の検討をする。
近隣に学校がある施設は、体育館等学校施設を代替施設として活用して統廃合する。例えば下水流トレセンであれば、下水流小学校。ただし、トイレが体育館の外にある、洋式トイレがない、感染症対策等で収容しきれない等の課題があるため、学校側の施設の機能や広さを充実させる。また、学校体育館は、事前登録して予約しないと使えないので、気軽に使えるよう手続きを簡素化する。
出水商業高校体育館や遊休施設等においても避難所機能を検討する。
経費のムダを抑えるため、定期的なメンテナンスを計画化する。また、市税（収入）はあてにせず、国・県・財団等の予算（補助）を利用する。
高尾野地域には、喫茶店のようなものがないので、施設内にカフェ・ブックカフェを設置して利用者を増やす
公共施設のあり方に関する市民との情報共有・意見徴収について、若年層（子供や親世代）の意見も取り入れ、市民ワークショップの内容を広く市民に公開する
現在ある施設をその場に残すという考え方をなくし、ゼロベースでまちづくり（公共施設配置）を考え直す。大災害時に使える建物が必要。分類の区別なく一つの建物に入るものはまとめ、駐車場も広くとることで大災害に対応できる。併せて、（施設を管理する）人員配置や、最悪の場合を想定して各家庭の避難先の把握、指定ができるようにする。
現在はマイカー利用が多く、公共施設が遠方に移っても支障がない。ただし、子供（小中学生）が利用するもの、防災機能（避難所利用）に配慮し、地区ごとに公共施設を減らしていく
青年の家は、子供たちの利用だけでなく、市内の職場研修等多目的な利用を促進して稼働率向上、収入の確保を図る
老朽化や耐震化等、今後施設全般が専門的な対策が必要となることから、設備管理課等の専門部署を市役所内に新設する。
出水商業高校は他校と合併する。
図書館は、蔵書を増やしイベント等も増やす。そして広い駐車場を備えて1か所に統合する。1か所にすることで視点が広がる。



# 公共施設の今後のあり方に関する市民ワークショップ

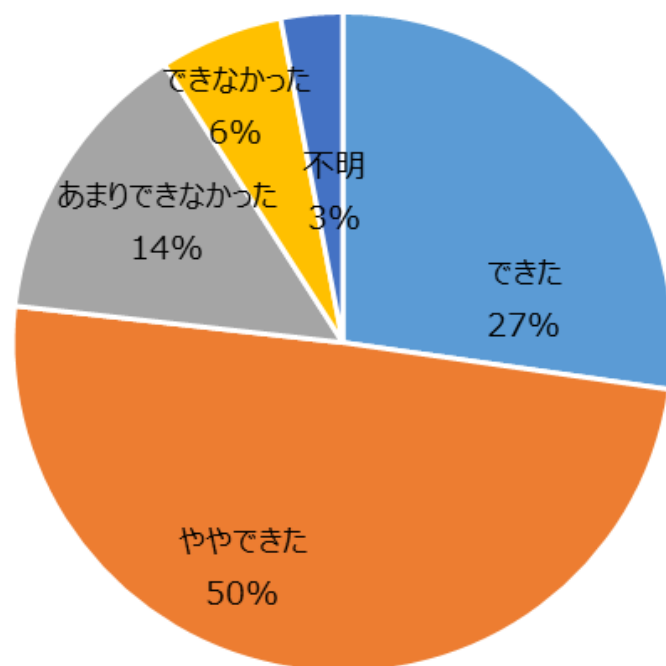
## 3 参加者アンケート結果 (1/2)

公共施設市民ワークショップ参加人数



No.	開催地区	人数	割合
1	出水	10	10%
2	西出水	12	12%
3	東出水	7	7%
4	米ノ津(荘)	11	11%
5	米ノ津東	7	7%
6	大川内	10	10%
7	高尾野	8	8%
8	下水流	5	5%
9	江内	16	16%
10	野田	13	13%
	計	99	100%

### 1 グループ検討で、自分の意見を十分にだすことができましたか？

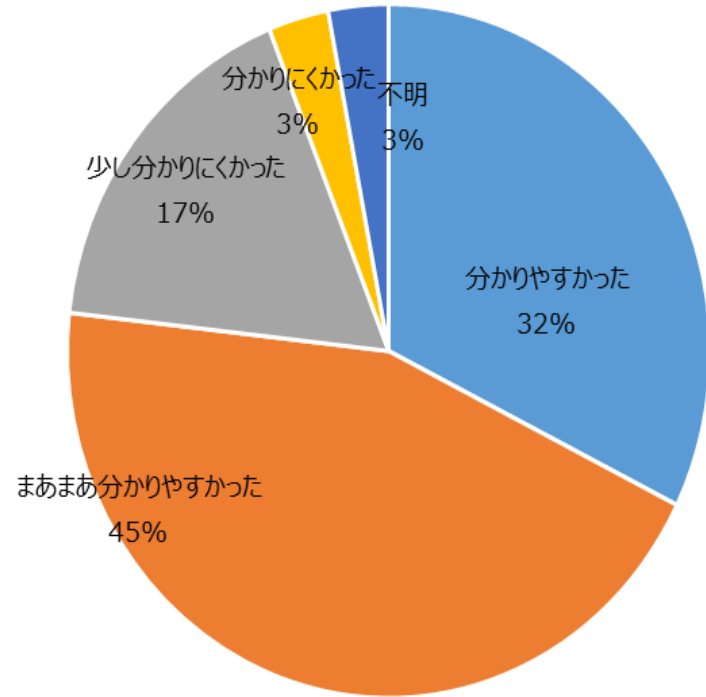


No.	選択肢	人数	割合
1	できた	27	27%
2	ややできた	49	49%
3	あまりできなかった	14	14%
4	できなかった	6	6%
5	不明	3	3%
	計	99	100%

# 公共施設の今後のあり方に関する市民ワークショップ

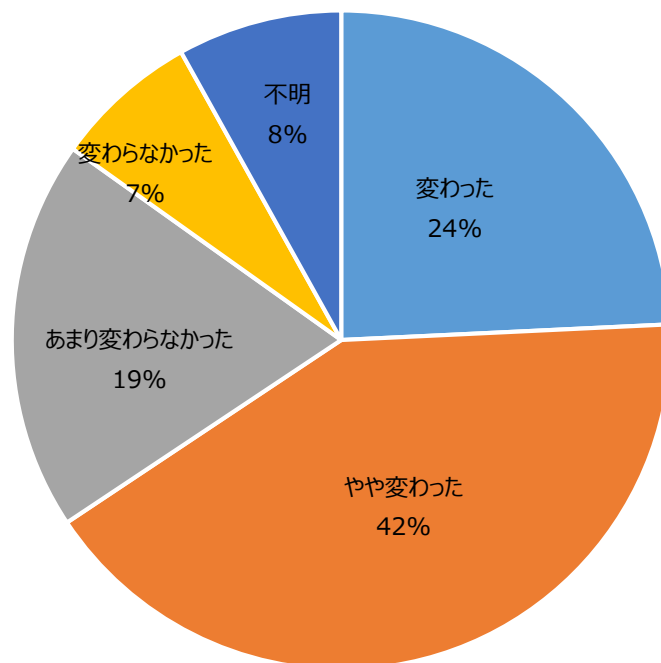
## 3 参加者アンケート結果 (2/2)

2 今回のテーマや市の説明は、分かりやすかったですか？



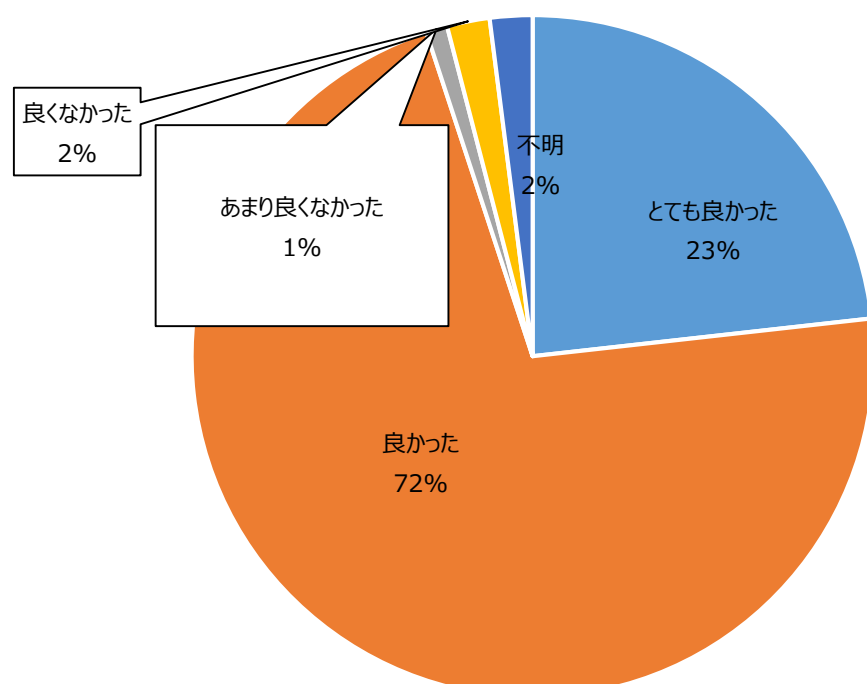
No.	選択肢	人数	割合
1	分かりやすかった	32	32%
2	まあまあ分かりやすかった	44	44%
3	少し分かりにくかった	17	17%
4	分かりにくかった	3	3%
5	不明	3	3%
	計	99	100%

3 ワークショップに参加し、公共施設に対する考え方は変わりましたか？



No.	選択肢	人数	割合
1	変わった	24	24%
2	やや変わった	41	41%
3	あまり変わらなかった	19	19%
4	変わらなかった	7	7%
5	不明	8	8%
	計	99	100%

4 ワークショップに参加して良かったですか？



No.	選択肢	人数	割合
1	とても良かった	23	23%
2	良かった	71	72%
3	あまり良くなかった	1	1%
4	良くなかった	2	2%
5	不明	2	2%
	計	99	100%